

第52回

ル・クレエ 榎原美容専門学校

技能五輪全国大会に出場決定!

目指すは優勝。そして2015年国際大会(ブラジル)へ。



日本代表育成コース
おつか ゆき
大塚 祐基
第46期生(第52回技能五輪全国大会出場者)

大阪府生まれの奈良県育ち。小学校5年生から野球を始め、中学時代は奈良県内のクラブチームに所属しピッチャーとして活躍。その後、スポーツ推薦で大阪商業大学期高等学校に進学。野球漬けの日々を送ってきた根柢の体育会系男子。



まず美容師を志したきっかけを教えてください。

大塚 父が美容関係の商材を販売しており、サロン(美容室)は身近な存在でした。物心つく頃からスタイリストの仕事風景を見て「カッコいいな、俺もなりたい!」って。腕と個性を磨いて、お客さんに喜んでもらう。ちょっと想像するだけでワクワクしてきます。

窪西 母がオシャレ好きで、私が3歳ぐらいになるとパーマをあててくれました。小さい頃から髪をさわってもらうことが大好きでしたね。中学生の頃は美容師になりたいと強く思い始めました。

本校を選んだ理由を教えてください。

大塚 自宅が近所で、いつも学校の前を通っていたので身近な存在でした。大阪の高校に進学したため、進路指導の先生には大阪や東京の専門学校を進められましたが、本校の学校案内を見て、コンテストで全国優勝している先輩がたくさんいることを知り、自分も目指そうと思いました。



世界で活躍するアーティストが指導。

大塚 美容系の専門学校では一般に、美容師の国家試験に合格するための基礎技術を学びますが、特にこのコースでは、芸術性の高い作品を仕上げるための高度

11月28日(金)から4日間にわたり愛知県で開催が予定される「技能五輪全国大会(主催:厚生労働省ほか)」。工業系、通信系、サービス・ファッション系などの41の部門で若手技術者が一堂に会し、それぞれの職種で日本一をかけて技能を競い合う。また、同大会は来年8月にブラジル・サンパウロで開催される国際大会の代表選考も兼ねる。これまでル・クレエ榎原美容専門学校は同大会の美容部門で多くのメダリストを輩出。昨年ドイツで開催された技能五輪国際大会では、弓床杏奈氏が同校出身者初の日本代表として出場するという快挙を成し遂げた。本年度、県内予選を勝ち抜き奈良県代表として同校から出場予定の二人に、技能習得の様子や大会への意気込みについて聞いた。(聞き手 株式会社 創 下出貴史)



日本代表育成コース
くほにし さき
窪西 早紀
第46期生(第52回技能五輪全国大会出場者)

奈良県出身。奈良県立桜井高等学校を卒業。高校在学中は英語コースで異文化コミュニケーションを学ぶとともにバレエボールに打ち込み。また、得意な手芸を活かしてオリジナルマスクを部員にプレゼントするという一面も持つ文武両道女子。



な技術も学びます。模範となるスタイルを再現できるよう繰り返し練習するのですが、全体のバランスとポイントさえ外さなければ自分流にアレンジしてもよく、自由に取り組めるのでどんどん面白くなってきます。世界的に活躍するアーティストの先生からも定期的に指導を受けられ、本当に貴重な経験をさせてもらっています。

このコースは特別選抜と聞いていますか。

大塚 1年次の修了時(3月)に、まとめ髪作品で審査が行われ、2名選ばれます。

このコースを目指したきっかけは。

窪西 昨年日本代表として国際大会に出場した弓床さんに教わる機会があって、自分も全国大会で勝って国際大会に行きたいと思いました。国際大会では美容だけでなく理容技術も問われるため、この機会に練習して将来に活かせることも大きな魅力です。

実務で活躍する技術を学生時代から学ぶ。

大塚 僕は入学前から決めていました。卒業後、実務で活かせる技術を学生のうちから学べることは大きいですね。また、コンテストでの優勝という目標を持って取り組めるため、一日一日を大切にできます。結果を残せば、就職活動にも有利になりますし。

日々の練習の様子を教えてください。

大塚 通常の授業を終えてから放課後も夜の7時頃まで練習します。日々、自分の技術の向上がわかりますので



喜びは大きいですよ。窪西さんは器用だし、相当な努力家なので、着実にレベルアップしているのが横にいてわかります。たくさんの刺激と発見ももらっています。良さライブルとして意識はしていますが、結局は自分との戦いですから。

窪西 連日長時間の練習となりますので、気持ちを切り替えて集中する様に心がけています。それでも身に付けないといけない技術が多すぎて、全国大会に間に合うのか少し不安になったりします。大塚君はいつも燃えているのでこちらも刺激を受けますし、お互いに気づいた点を意見交換できるのでありがたいですね。

目標は国際大会への出場。

最後に、全国大会への意気込みを聞かせてください。

大塚 入学前から目標にしてきた大会ですので、絶対優勝してブラジル(国際大会)へ行きたいですね。大会までの一日一日を大切に夢を実現させます。昨年、本校から弓床先輩が世界に挑戦しています。その弓床先輩に、「大塚君なら絶対世界に行けるよ!」って励まさせていただきました。それを信じて頑張るのみです。

窪西 私も全国大会での優勝、そしてその先の国際大会での上位入賞を目指します。そのためには、練習だけでなく、自宅での生活も含め、日常生活からきっちりするように心掛けています。日頃の生活態度が作品に影響しますから。最大のライバルである大塚君と一緒に頑張ります。

若手技術者の登竜門「技能五輪大会」



技能五輪全国大会

厚生労働省と中央職業能力開発協会の主催による、原則満23歳以下の青年技術者による技能レベル日本一を競う競技大会。1963年の第1回東京大会より毎年開催され、工業系、通信系、サービス・ファッション系など約40職種を対象に行われる。出場するためには、各都道府県の予選大会や職業能力開発協会により選抜されることと条件となる。また同大会は、2年毎に開催される技能五輪国際大会への代表選考会も兼ねている。なお、美容職種では、2日間にわたって4つの課題を計11時間で仕上げることが求められる。

第51回技能五輪全国大会「美容職種」における課題と制限時間

競技1日目	セット＆カラーブロースタイル(240分) ナイト・イブニングスタイル(90分)
競技2日目	ロング・アップカールスタイル(210分) カット＆カールスタイル(165分)



技能五輪国際大会

正式には国際技能競技大会(英:World Skills Competition)と呼ばれ、2年に一度、ワールド・スキルズ・インターナショナル(WSI:World Skills International)によって開催される。同組織委員会のメンバーは、加盟各国からの公式代表及び技術代表により構成されている。日本からは、中央職業能力開発協会が同組織のメンバーとなり、国際大会に日本選手団を派遣。50を超える国と地域の代表選手が、世界最高峰の職業技術を競うとともに、大会を通じた国際親善・交流を行う。「ヘアードレッサー部門」では4日間で8つの課題を仕上げ、競技時間は約20時間にもなる。2015年8月に第43回大会がブラジルのサンパウロで開催予定。

第42回技能五輪国際大会「ヘアードレッサー部門」における課題(競技日4日間)

モジュール	内容
A	メンズ・クラシック・スカルプチュアードカット、スタイリング及びフザサのあごひげのデザイン
B	メンズ・アバンギャルド・カット、カラーリングとスタイリング
C	メンズ 流行のヘアカット、カラーリング
D	メンズ 流行のパーマネントウェーブカット
E	レディース・コンペティション・クリエイティブ・スタイル、カラー・ハンズメント
F	レディース・ヘア・バイ・ナイト、ヘアピースと髪飾り付き
G	レディース・ファッション・ロングヘア、カラーリング
H	レディース・トランスフォーメーション 流行のヘアカット

特別選抜 日本代表育成コース

プロと戦える技を身につける
万全の指導体制

「奈良県美容業生活衛生同業組合」が世界レベルの講師陣を揃え、現役スタイリストと戦える技術と感性を養成する特別プログラム。技能五輪全国大会での優勝、そして国際大会への出場を目指します。



これまでの技能五輪全国大会での受賞歴

2007	第45回 技能五輪全国大会 銀メダル/神矢 翔子さん 銀メダル/園部 英製華さん
2008	金メダル/神矢 翔子さん 銀メダル/吉川 太輔さん
2009	金メダル/岩本 多矢さん 銀メダル/東郷 麻子さん
2011	金メダル/見學 静さん 銀メダル/西中 由香里さん
2012	銀メダル/弓床 杏奈さん 銀メダル/岡本 岳さん
2013	銀メダル/寺田 陸さん 銅メダル/南方 麻衣さん

日本を制し、世界へ。



世界への扉は、ここにある。

第42回技能五輪国際大会
(ドイツ ライプツィヒ)
「ヘアードレッサー部門」日本代表
2013年3月卒業 第44期生
弓床 杏奈



OPEN CAMPUS 2014

8/22 [FRI]・9/20 [SAT]
13:00-15:00

*全ての日程で1回目参加者と2回目以上参加された方は、重複した説明や同じ内容の体験を避けるため、グループ別に行います。出来る限り複数回、ご参加頂き学校の様子を見て頂きたいと思っております。



ソウゾウリョクで生きていく。
ル・クレエ 榎原美容専門学校
〒634-0831 奈良県橿原市曾我町915-1 <http://www.le-creer.ac.jp/>

事前予約制 お電話もしくはEメールでお申し込みください。TEL.0744-22-1660 E-mail: info@bionara.or.jp